

近畿大学 教育論叢

The Research Journal of the Teacher Education Department
Kindai University

第34卷第1号



2022

■ 近畿大学教職教育部 ■

近畿大学教育論叢

第三十四卷第一号

令和四年(二〇二二)九月

近畿大学教職教育部

 近畿大学

目 次

原著論文

- ICT 利用による「想像の共同体」への参加を目指したオンライン授業
Online lessons aimed at participating in the "imaginary community" using ICT
..... 杉浦 健 (SUGIURA Takeshi) ... 1
- Modern History Education in Senior Secondary Schools in New South Wales:
The Impact of Changes in Response to the Australian Curriculum
..... 下村 隆之 (SHIMOMURA Takayuki) ... 13
- 国語科教育と文学教材(1) –井上ひさし「ナイン」と「握手」より–
Japanese Language Teaching Materials and Literary Teaching Materials (1) :
From “Nine” and “Akushu (handshake)” by Hisashi Inoue
..... 中田 睦美 (NAKATA Mutsumi) ... 33
- 紀南地方の中学校における防災意識と校内ハザードマップづくりについて
Awareness for Disaster Defense and School Hazard Mapping
at a Lower Secondary School in Kinan District
..... 渡邊 靖文・吉川 武憲
..... (WATANABE Yasufumi・YOSHIKAWA Takenori) ... 51
- 幼児期の健康と生活実態に関する研究－新型コロナウイルス感染症による影響調査－
Research on Health and Living Conditions in Early Childhood
: Emergency Investigation of Impact of New Coronavirus Infection (COVID-19)
..... 矢野 氏郷 (YANO Ujisato) ... 65

報告書

学生生活と就職活動の振り返り — インタビュー調査から見たキャリア探索 —

Reflections on Job Hunting and Student Life; Career Exploration

through Interview Surveys

.....湯口 恭子 (YUGUCHI Kyoko) ... 77

編集発行内規

投稿要領

編集後記

『近畿大学教育論叢』編集発行内規

第1条 近畿大学教育論叢（以下「本誌」という）は、教職教育部が年1回以上発行する。

第2条 本誌の編集、発行の任にあたるため編集委員会を置く。

2. 編集委員会は、委員長1名、委員若干名をもって構成する。
3. 委員長、委員は、教職教育部教授会の承認を経て、教職教育部長が委嘱する。

第3条 投稿者（執筆者）は、原則として本学園教職員に限る。但し、編集委員会の議を経て教職教育部長により投稿を認められた者はこの限りではない。

2. 投稿者は、別に定める「投稿要領」に従って、原稿を作成することとする。

第4条 原稿の校閲および採否の決定は、編集委員会が行う。

2. 編集委員会は、投稿原稿の本誌掲載の採否を判断するため、審査を行う。
3. 編集委員会は、投稿者に対し、上記審査に基づき、内容の修正等を求めることができる。

第5条 編集発行内規の改正に関しては、編集委員会の議を経て、教職教育部教授会で決定する。

第6条 当該原稿の著作権は、著作者および共著者に帰属する。

2. 著作者および共著者は、当該原稿に係わる複製権、公衆送信権及び譲渡権の許諾を近畿大学に与えるものとする。
3. 近畿大学が当該原稿の電子化・公開を委託する機関に対して、公衆送信権および複製権の許諾を与えるものとする。

附 則

この内規は、平成24年4月1日から施行する。

『近畿大学教育論叢』

(The Research Journal of the Teacher Education Department, Kindai University)

投稿要領

1. 原稿は未発表のものに限る。投稿の区分は、原著論文、研究報告、書評、その他とする。
 - (1) 原著論文は、理論的または実証的な独創性のある研究、および独創的または有効性のある教育実践研究、教材・教具・教育システム等の開発研究とし、論文として完結した体裁を整えているものとする。
 - (2) 研究報告は、教育を扱う研究論文に準じたものとする。
 - (3) 書評は、教育に関する図書の紹介や批評とする。
 - (4) その他、編集委員会が認めた区分を適宜設けることができる。
2. 投稿数は、号ごとに1本までとする。同じ号に複数の投稿は認めない。
3. 原稿は原則として、ワープロを使用して作成、提出するものとする。
4. 原稿締め切り時に、原稿のコピー2部と投稿票兼宣誓書1部を提出する。校閲後、掲載が決定した論文については、原稿コピー1部と、訂正したデータをメールで編集委員会に提出する。
5. 原稿には表紙を付し、次の事項を記入する。
 - (1) 表題（含む副題）
 - (2) 表題の英文（含む副題）
 - (3) 氏名、所属、職名
 - (4) 連絡先（教職教育部の専任以外の投稿者の場合、メールアドレスを含む）
 - (5) 別刷りの必要部数（規定部数を50部とし、それを超える分は自己負担とする）
 - (6) キーワード（5個以内）
6. 原著論文の場合、用紙はA4判を用い、原則として横書きで原稿を作成する。40字×30行の書式で、原則30枚以内（表紙、本文、文献、図、表を含む）とする。研究報告10枚以内、書評・その他3枚以内とし、原著論文と同様の書式で作成する。
英文の原著論文の場合は、原則としてAPAに準拠し、10,000語以内とする。提出に際しては、専門家の英文校閲を経たことを証明する書類を添付する。
7. 本文中で、活字の大きさ、書体を変える場合は、具体的に指示する。
8. 表、図、写真などは、刷り上がりの大きさを指定し、具体的に指示する。
9. その他原稿の投稿に関しては、編集委員会で協議する。

10. 投稿原稿の執筆は、次の通りに行う。

(1) 英文の題名、副題、著書名については、すべての単語（前置詞および、冠詞 the などを除く）の最初を大文字にする。

(2) 英文論文題名の副題は、コロン（:）で分ける。

(3) 和文の句読点は、（、）（。）を用いる。文献では、コンマ、ピリオドを認める。

(4) 図は、Figure1、Figure2 あるいは、図 1、図 2 とし、表は、Table1、Table2 あるいは、表 1、表 2 のように通し番号をつけ、論文内で統一された表記を使用する。

(5) 必要に応じて大見出し、中見出し、小見出しを用い、その表記は次のようにする。

大見出し 1. 2. ……

中見出し (1)、(2) ……

小見出し ①、② ……

(6) 引用文献・資料は、以下のように記述する。なお注について文献を示すことも可能とする。

著者名、発行年、題名、出版社、引用ページ数（頁、ページ、p など）

著者名、発行年、論文名、雑誌名、ページ

令和 3 年 4 月 1 日改訂

編 集 後 記

2022年4月を迎え、新型コロナ感染拡大の影響によって余儀なくされた全面オンライン授業も徐々にではありますが対面授業に移行してきました。学生と顔を突き合わせ、学生の様子をみながら講義が出来ることは教員にとってやはり格別のものであると思います。

2020年から始まった世界的な新型コロナ感染拡大によって、私たちの生活は一変しました。ここで、私たちは何を学んだのでしょうか。従来の「当たり前」を問い直し、生活を続けていくことの困難を乗り越えようと、どのように向かい合ったのでしょうか。従来の価値観も変化せざるを得ない時期を経て私たちが学んだことが、今後の社会をより生きやすいものに変化させていくことを期待しています。

また、人々の意識の変化だけでなく、新型コロナ感染拡大を食い止めようとする研究も医療を始めとする多くの分野で積み重ねられてきました。教育の分野でも新たな教育方法や授業形態が開発・促進されました。こうした状況の中で積み重ねられた知見を、研究の場から、あるいは実践の場から社会に広く還元していくことも教育論叢の一つの大きな役割だと感じました。引き続き皆様のご投稿をお待ちしております。

近畿大学教育論叢編集委員会

山本 智子、下村 隆之、光田 尚美、高橋 朋子

近 畿 大 学 教 育 論 叢 第34巻第1号

令和4年9月20日 印刷

令和4年9月20日 刊行

発行人 近畿大学教職教育部長
戸井田 克己

発行所 近畿大学教職教育部

577-8502

東大阪市小若江3丁目4番1号
